# **SQL Server 2012**

# Microsoft® SQL Server 2012 は、以下の製品群で構成されています。

#### データベース・サーバ

# **SQL Server 2012 Enterprise Edition**

SQL Server 2012 Enterprise Edition は、ミッションクリティカルなシステムおよびデータ ウェアハウスの構築に適したエディションです。

Business Intelligence Edition の全機能を包含し、さらに高可用性、災害対策、負荷分散を同時に実現できる Always On 可用性グループ と Always On フェールオーバー クラスタリングを提供します。 また、データ ウェアハウスにおいて高いパフォーマンスを実現するカラム ストア インデックスを提供します。

### **SQL Server 2012 Business Intelligence Edition**

SQL Server 2012 Business Intelligence Edition は、社員向けセルフサービス BI の構築に適したエディションです。Standard Edition の全機能を包含し、迅速なデータ分析を実現する Power View やデータクレンジング処理を実現する Data Quality Services を提供します。また、Master Data Services が強化されたことにより、さらに信頼性が高く分析可能なデータを一元的に管理することができます。

#### **SQL Server 2012 Standard Edition**

SQL Server 2012 Standard Edition は、部門アプリケーションなどの中規模システムに最適なエディションです。Enterprise Edition や Business Intelligence Edition より低コストで、部門用データベースとして必要なデータベース エンジン、レポーティング、分析用の基本機能が含まれています。

#### **SQL Server 2012 Developer Edition**

SQL Server 2012 Developer Edition は、開発および、テスト向けエディションです。実運用環境での使用はできません。

### ライセンスの定義

SQL Server 2012 の Standard Edition には、SQL Server 2012 をインストールするサーバの物理プロセッサをカウントする方式ではなく、SQL Server が動作するハードウェアにおいて、1 プロセッサごとに搭載されるコア数の合計をカウントする「コアライセンス(Computing Power ライセンス)」と、SQL Server 2012 が稼働するサーバ数分のサーバ ライセンスと、そのサーバにアクセスするユーザまたはデバイスの数のクライアントアクセス ライセンス (CAL) が必要になる「サーバ/ CAL ライセンス」の 2 つのライセンス モデルを提供しています。尚、SQL Server 2012 Enterprise Edition は、「コアライセンス」のみ、SQL Server 2012 Business Intelligence Edition は、「サーバ/ CAL ライセンス」のみ提供しています。

#### コアライセンス

SQL Server 2012 では、物理プロセッサをカウントする方式ではなく、SQL Server が動作するハードウェアにおいて、1 プロセッサごとに搭載されるコア数の合計をカウントするモデルとなります。各物理プロセッサに最低 4 コアライセンスが必要となります。また仮想環境では仮想プロセッサ (仮想環境に割り当てたコア) 数をカウントします。なお、このライセンス モデルの場合、SQL Server にアクセスするユーザ数は無制限となります。

### サーバ / CAL ライセンス

SQL Server 2012 が稼働するサーバ数分のサーバ ライセンスと、そのサーバにアクセスするユーザまたはデバイスの数の クライアントアクセスライセンス(CAL)を購入するライセンスモデルです。利用されるサーバ製品 (SQL Server 2012 Standard、Business Intelligence Edition) の数だけのサーバ ライセンスが必要になります。また、利用されるサーバ製品 (SQL Server 2012 Standard、Business Intelligence) にアクセスするユーザまたはデバイスの数だけのクライアント アクセス ライセンス (CAL) が必要になります。

### サーババンドル版ライセンス

Express5800 サーバと同時に購入することで、パッケージ製品よりも安価に導入することのできるライセンスも提供しています。

#### ライセンスの注意事項

#### サーババンドル版のライセンスについて

サーババンドル版では、SQL Server 2012 から追加ライセンスという考え方が導入されたため、通常のサーバライセンスおよび 4 コアライセンスを「ベースライセンス」、追加サーバライセンスおよび 追加 2 コアライセンスを「追加ライセンス」と呼びます。 1 台の物理サーバに対してベースライセンスは 1 つしか購入することができないため、2 つ以上のサーバライセンス、またはコアライセンスを購入する必要がある場合に、追加ライセンスでの購入が必要です。

また、サーババンドル版のサーバライセンスには、CAL が付属しておりません。サーババンドル版のサーバライセンスをご購入の際には、併せて必要数分の追加 CAL を手配いただく必要があります。

#### パッケージ版のライセンスについて

パッケージ版では、サーバライセンス、およびコアライセンスを必要な数だけご購入いただきます。 パッケージ製品のコアライセンスは 4 コアのみの提供となりますので、サーババンドル版のようなベース ライセンス、追加ライセンスという区別はありません。

### Standard Edition / Business Intelligence Edition の制限事項について

Standard Edition および Business Intelligence Edition では、データベース エンジンの制限として、4 ソケットか 16 コアのいずれか少ない方までしか利用することができません。データベース エンジンとして制限を越える分は認識しませんが、ライセンスはデータベース エンジンが認識しない分についてもご購入いただく必要があります。

#### 仮想環境を使用した場合のライセンスについて

基本的には、サーバライセンスでは、物理的・仮想的なサーバのそれぞれにライセンスが必要であり、コアライセンスにおいても、物理的・仮想的なコアのそれぞれにライセンスが必要です。

但し、SQL Server 2012 Enterprise Edition に限定した考え方として、サーバライセンスの場合、1 サーバライセンスあたり仮想環境 4 つまでかつ、物理コア数と論理コア数の合計が 20 コアまで利用することができます。また、コアライセンスの場合、物理コア数の合計か仮想インスタンスに割り当てた論理コア数の合計のいずれか少ない方のライセンスのご購入となっています。物理コア数の合計のライセンスを購入することで、各仮想環境に割り当てた論理コア数に関係なく、物理コア数分の仮想環境を稼動させることができます。

### CLUSTERPRO や WSFC など、クラスタリングソフトを使用したクラスタ構成のライセンス

Active/Passive 構成の場合、Passive 側のライセンスは必要ありません。ただし、コアライセンスの場合、Passive 側のサーバが Active 側のサーバよりも合計コア数が多い場合は、コア数の多い、Passive 側のライセンス数をカウントします。

Active/Active 構成の場合は、双方のサーバのライセンスが必要となります。

# データベース ミラーリング機能を利用する場合のライセンス

SQL Server 2012 で、データベース ミラーリング を構成する場合、待機系(ミラー)および監視系(ミラーリング監視)サーバについてはライセンスをカウントしません。それら全てのサーバ上に SQL Server 2012をインストールしますが、ミラー サーバは待機系として、ミラーリング監視サーバは監視目的としての用途のみに使用することができます。これ以外の用途に使用する場合には、プリンシパルと同様にライセンスが発生します。

### 下位パージョンの使用について

SQL Server 2012 のダウングレード権を利用して、SQL Server 2008 R2 やそれ以前のバージョンへダウングレードして利用することが可能です。

### SQL Server 2012 Developer Edition のライセンス

SQL Server 2012 Developer Edition のライセンスの考え方は、他の Edition とは異なり、開発(使用)者 1人につき、1 本必要です。サーバの台数やサーバに搭載されている CPU 数等は関係ありません。

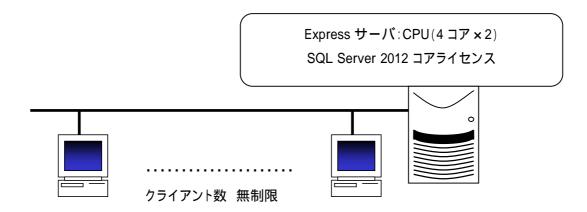
### サーババンドル版におけるハードウェア廃棄時のライセンス

サーババンドル版のサーバライセンス及び、コアライセンスについては、ハードウェアを廃棄すると同時に継続利用(再利用)不可となります。

但し、サーババンドル版 SQL Server 2012 追加 CAL については、ハードウェア廃棄後も利用可能です。

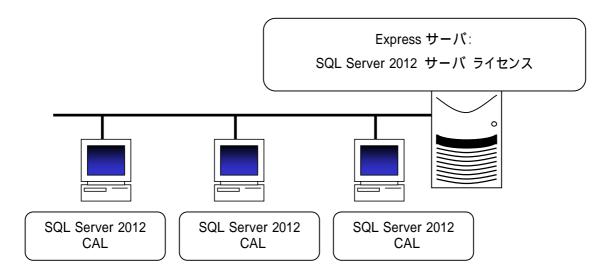
#### 基本例

Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition を、コアライセンスで使用する場合は?



SQL Server 2012 が動作するサーバに搭載されている物理コア数の合計分の購入が必要で、社内システムの無制限のクライアントならびに、インターネット環境で不特定多数のユーザからアクセスが可能です。 Web ベースのシステムに最適です。

Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition を、 サーバ ライセンス / クライアント アクセス ライセンスで使用する場合は?

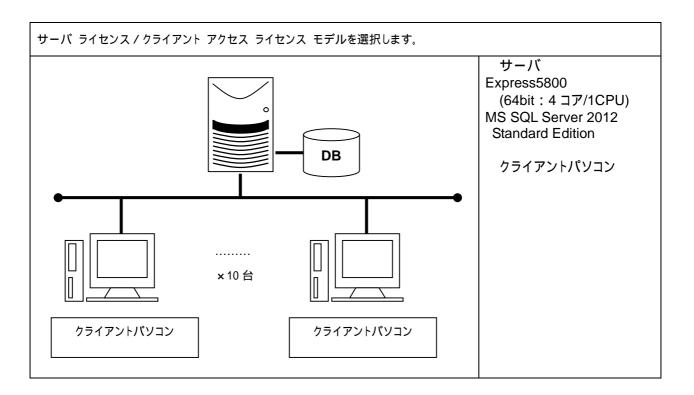


SQL Server 2012 にアクセスする全てのデバイス / ユーザにクライアント アクセス ライセンスが必要で、ネットワーク上の SQL Server 2012 および、以前のバージョンの SQL Server (例えば SQL Server 2008 R2) すべてにアクセスする事ができます。

比較的小規模な環境でクライアント数が特定できる場合に最適です。

# 構成例

システム名: Microsoft SQL Server 2012 基本構成例 端末数: 10台



# サーババンドル版の場合

型名 サーバ ライセン	<b>品名</b> ス/クライアント アクセス ライセンス	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準サポート料金 単価(円)	月額標準サポート料金 合価(円)
	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition サーバ	1	188,300	188,300	2,400	2,400
UL1300-023	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 10 Device CAL	1	320,000	320,000	4,000	4,000
	合計価格			508,300		6,400

型名	品名		希望小売価 格(円)	合価(円)
PP・サポートサ-	-ビス 1 年付きパック製品			
UL1300-H001	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition サーバ (1 年間保守付)	1	217,100	217,100
UL1300-H023	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 10 Device CAL (1 年間保守付)	1	368,000	368,000
	合計価格			585,100

# パッケージ版の場合

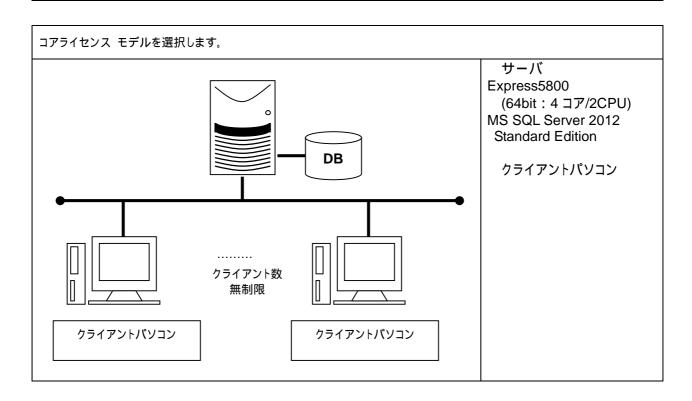
型名	品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準サポート料金 単価(円)	月額標準サポート料金 合価(円)
サーバライセン	ス					
UL1300-004	Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 10 クライアントアクセスライセンス付き	1	544,000	544,000	6,800	6,800
	合計価格			544,000		6,800

型名	品名	数量	希望小売価 格(円)	合価(円)
PP・サポートサ-	-ビス 1 年付きパック製品			
	Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 10 CAL 付き (1 年間保守付)	1	625,600	625,600
	合計価格			625,600

# 見積もり時の注意事項

- ・SQL Server 2012 のサーバライセンス / CAL 体系では、Windows Server のライセンスオプションにある同時使用ユーザ数モードに該当するライセンスはありません。 SQL Server を利用するデバイス数 / ユーザ数分の CAL を購入する必要があります。
- ・クライアントの数と、サーバマシンのコア数次第では、コアライセンス体系の方が経済的になる場合があります。

システム名: Microsoft SQL Server 2012 基本構成例 端末数:不明



# サーババンドル版

型名	品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準サポート料金 単価(円)	月額標準サ ポート料金 合価(円)
コアライセンス						
UL1300-021	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 4 コア	1	1,152,800	1,152,800	14,500	14,500
UL1300-031	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 追加 2 コア	2	576,400	1,152,800	7,300	14,600
	合計価格			2,305,600		29,100

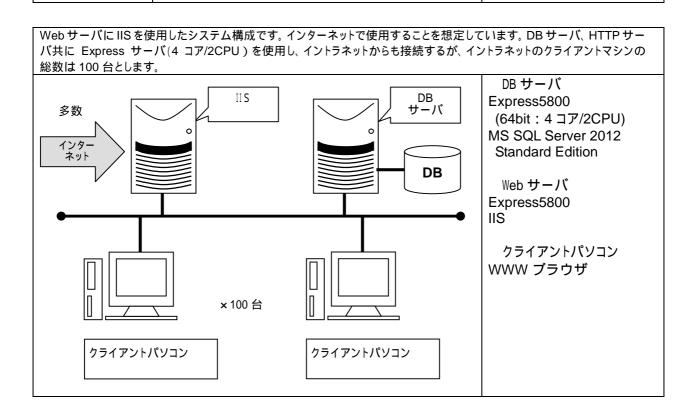
型名	型名		希望小売価 格(円)	合価(円)
PP・サポートサ-	- ビス 1 年付きパック製品			
UL1300-H021	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 4 コア (1 年間保守付)	1	1,326,800	1,326,800
UL1300-H031	JL1300-H031 (サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 追加 2 コア (1 年間保守付)		664,000	1,328,000
	合計価格			2,654,800

# パッケージ版

型名	品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準サポート料金 単価(円)	月額標準サポート料金 合価(円)
コアライセンス						
11 11 1200-01 <i>1</i>	Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 4 コアライセンス	2	1,370,000	2,740,000	17,200	34,400
	合計価格			2,740,000		34,400

型名	品名	数量	希望小売価 格(円)	合価(円)
PP・サポートサー	-ビス 1 年付きパック製品			
UL1300-H014	Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 4 コア (1 年間保守付)	2	1,576,400	3,152,800
	合計価格			3,152,800

 システム名:
 Web サーバシステム構成例
 端末数: 不明 / 100台



# サーババンドル版

型名	品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準サポート料金 単価(円)	月額標準サ ポート料金 合価(円)
コアライセンス						
UL1300-021	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 4 コア	1	1,152,800	1,152,800	14,500	14,500
UL1300-031	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 追加 2 コア	2	576,400	1,152,800	7,300	14,600
	合計価格			2,305,600		29,100

型名	品名	数量	希望小売価 格(円)	合価(円)
PP・サポートサ-	-ビス 1 年付きパック製品			
UL1300-H021	(サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 4 コア (1 年間保守付)	1	1,326,800	1,326,800
UL1300-H031	1300-H031 (サーババンドル用) Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 追加 2 コア (1 年間保守付)		664,000	1,328,000
	合計価格			2,654,800

# パッケージ版

型名	品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準サポート料金 単価(円)	月額標準サポ ート料金合価 (円)
コアライセンス						
UL1300-014	Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 4 コアライセンス	2	1,370,000	2,740,000	17,200	34,400
	合計化	<b>西格</b>		2,740,000		34,400

型名	品名	数量	希望小売価 格(円)	合価(円)
PP・サポートサ-	-ビス 1 年付きパック製品			
UL1300-H014	Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition 4 コア (1 年間保守付)	2	1,576,400	3,152,800
	合計価格			3,152,800

# 見積もり時の注意事項

- ・インターネットで SQL Server を使用する場合は、Web サーバからの無制限アクセスが許諾される SQL Server コアライセンスを利用します。
- ・インターネット以外から使用(Web サーバ経由)する場合でも CAL は必要ありません。